

桑木或雄 （おとむ かつむね） 科學史家、物理學者、理學博士。明治十一年九月東京
 生れ、昭和二十年五月十六日歿（六六—一九四五）。哲學者桑木嚴毅（おとむ げん）の弟。
 東京帝國大學理科大學物理學科卒。明治四十年明治專門學校教授、大
 正三年九州帝國大學工科大学教授、昭和十二年松本高等學校校長。こ
 の間（おとむ）日本人として初めてアインシュタインの會心、アインシュタイン著
 『相對性原理講話』（池田芳郎共譯、大正十年七月五日岩波書店）を
 譯刊紹介、更に『アインシュタイン傳』（昭和九年九月—二十一年日改造
 社「偉人傳全集」）を著してゐる。十六年日本科學史學會初代会長
 に就任。
 他に、『物理學と認識』（再版、大正十一年六月—十九日改造社）、
 『明治以前の我々自然科學の發達』（昭和十六年二月十五日教學社）教
 師業書『（ ）、（ ）の日本語學講義集・第八輯—自然科學の發達』（大田正雄・
 大谷光太郎共著、大谷正雄が發行者）編、昭和十八年十月十日印刷朝野（、
 『黎明期の日本科學』（昭和二十一年四月十日弘文堂書房）等。

